

過敏性の 心理学

近年、発達障害の方々の特性の一つに光や音、触覚に対する過敏性があることが知られ、心理学も様々な形で貢献してきました。本シンポジウムでは、当事者からの情報提供の他に、そのメカニズムの理解や、教育場面での支援、そして過敏性を活かした芸術への展開など、過敏性に関係する最新の知見や取り組みについて紹介します。

企画・司会：緑川 晶(中央大学)・福森 崇貴(徳島大学)

2022年 11月 19日(土)
13:00 - 16:00

会場：Zoom ウェビナー（オンライン開催）
定員：1,000名【無料】
申込締切：2022年11月13日(日)（事前申込制）
https://psych.or.jp/event/sympo2022_sens/



話題提供：

井手 正和

(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)

佐々木 銀河 (筑波大学)

小山 慎一 (筑波大学)

細尾 ちあき (NPO法人ふるすあるは)

感覚過敏のメカニズム

過敏性を踏まえた高等教育での支援

過敏性と芸術

当事者からの発信

- ・どなたでもご参加いただけます。
- ・日本心理学会ホームページにてご案内しておりますZoomウェビナーのURLにアクセスし、必要事項を「事前登録」してください。登録後Zoomウェビナーより「確認」メールが届きますので、当日は確認メールの「このURLをクリックして参加」よりご参加ください。お知らせいただいた個人情報は、受付の目的のみに利用いたします。

